

河合町立文化会館運営協議会（第二回）

令和6年11月12日(火)

開始時間 10:00

出席者

教育委員会教育長	上村 欣也	まほろばホールを活かす会	植松 健一郎
総代・自治会長会長	高岡 宏芳	まほろばホールを活かす会	本 チ力子
教育委員代表	山川 裕子	商工会青年部部長	樋口 忠親
文化協会会長	岡 宏	商工会青年部	山本 泰史(欠)
社会教育委員会議長	音田 美幸	音楽関係者	岸 俊昭
日本映画撮影監督協会副理事長	山内 嘉信	【事務局】	
PTA連合会会長	常本 有紀	教育委員会事務局部長	中尾 勝人
		生涯学習課課長	吉川 浩行
		生涯学習課課長補佐	堀内 一憲

事務局

第2回目の会議を開催させていただきます。

委員長

第1回会議での主な質問に対する回答を事務局からお願いします。

事務局

稼働率について近隣町の稼働率を説明

○令和4年度

- ・王寺町いずみスクエア 224 席・・・28.4%
- ・やわらぎ会館 202 席・・・28%
- ・斑鳩町いかるがホール 729 席・・・39.7%
- ・上牧町ペガサスホール 1003 席・・・23.3%
- ・広陵町かぐや姫ホール 404 席・・・データなし
- ・河合町まほろばホール（大ホール）603 席・・・11%

○令和5年度

- ・王寺町いずみスクエア・・・28.4%
- ・やわらぎ会館・・・9.4%
- ・斑鳩町いかるがホール・・・74.7%
- ・上牧町ペガサスホール・・・25.2%
- ・広陵町かぐや姫ホール・・・32.5%

- ・河合町まほろばホール（大ホール）・・・12%

令和5年度の河合町大ホールの稼働率は12%で、稼働日は36日です。その中で入場料を徴収しての稼働が3日となっています。

近隣町の状況も踏まえまして、今後は稼働率20%を目標に運営していきたいと考えております。

複数案につきましては、60日稼働の場合は20%、90日稼働の場合は30%、120日稼働の場合は40%、150日稼働の場合は50%の稼働率となります。

ホームページ掲載についてですが、広報紙では10月号より掲載し、ホームページでは現在作成中です。

事業委員会の設立についてですが、今後運営協議会の中でも検討したいと思えます。

委員

【斑鳩町について】

- ・令和5年度の稼働率が高いのはどういう要因なのか、調べて参考にしてほしい。
- ・予約やキャンセルの手続きがしやすい。機材も、使用料が安く物が良い。
- ・駐車場も広く、近くの中学校も使えるので良い印象がある。
- ・PTAでも使用したが、部屋数が多く使い勝手が良いため会議等で利用しやすい。
- ・定期的に講座が開催されている。

【平群町について】

- ・最近オープンした総合文化センター（くまがしホール）は、座席を収納できるため使い勝手が良い。

事務局

参考にします。

委員長

次に、まほろばホール（大ホール）の状況説明をお願いします。

事務局

大ホールについては、岸委員から案内しながら説明をお願いします。

（ 舞台設備、制御版、操作盤、空調機器、ホール音響
舞台機構（緞帳、幕、スクリーン）について案内説明 ）

委員長

次に、修繕計画の説明をお願いします。

事務局

資料1について、第一回会議でも説明させていただいたとおり、長期修繕計画の30年間の計画から抜粋しており、30年間で税抜き36億円の費用が掛かります。また、20年間で19億円掛かるとの資料をお示ししましたが、今回は3カ年を抜粋した表となっており、その中で主な設備から見ていただきました。その計画の中で、完成から30年、33年更新の年数を経過しているということで、今後そういう計画を実施していくことになります。

完全な不良状態ではないものの、経年劣化により修繕・更新が必要な設備に要する費用として、3カ年で4億2,700万円となっています。

委員

更新年数というのは、どういう意味でしょうか。またどういう基準ですか。

事務局

本来でしたら、設備ごとに耐用年数があり15年や20年経過時に修繕や更新をするのですが、平成3年の竣工以来一度も修繕や更新をしておりません。設備によっては、故障の都度部品交換や軽微な修繕により対応してきました。

委員

修繕や更新が必要かは耐用年数だけで決まるものではないと思います。例えば60年使えるものもあると思いますが、そういったことは反映されていますか。

事務局

例えば電気設備でしたら、20年で更新というものがあります。基本になるものとして耐用年数をベースに考えると、現状、文化会館のすべての設備が耐用年数を過ぎています。

本来であれば、これまで順次更新すべきであったものが先送りになって今に至っています。しかし、やはり貸館するうえで管理責任もあり、その都度修繕して対応してきましたが、計画的にはできていませんでした。

委員長

今後、文化会館を残すための協議の大きな議題になりますから、次回会議の資料として用意すべきものがあればご提案ください。

現在、大ホールの収入は運営の収入としては非常に少ないので状況ですが、例えば「他市町村ではこういうことをしている」などを例示していただければ、事務局としても助かると思います。

委員

少し話は逸れますが、この3番の重要度が一番大事な部分と考えます。ただ、まほろばホールを稼働している状態で3番が発生した場合、重大事故が起こりうる

とありますが、これを使いながら修理するという計画はありませんか。

事務局

修繕計画の中にその計画も含まれています。毎年、まほろばホール職員から設備の不具合報告を受けて予算を要望していますが、予算化に至らないのが現状です。存続に向けては、10年くらい前から本格的な改修工事はほぼしておらず、長らく設備が故障すれば応急的に修理して対応する形で稼働してきています。

委員

重大な事故が起こる可能性があると書いてある部分に関して、現状、まほろばホールを利用する中で、危険性はないですか。解消しないと安心して使っていたくことはできないと思いますがいかがでしょうか。

事務局

不具合に関しては、資料には記載していませんが、雨漏りなどがあります。そういったものについては、毎年修繕費を計上し対応しています。

委員

利用者が立ち入る場所では舞台上が一番危険性のある場所であるため、委託業者によって定期的に点検をしています。このため、安全面は確保されています。ただ、耐用年数の経過に伴い業者から更新を推奨されている設備もあります。しかし、点検の結果現状でも稼働できることが書類により報告されています。ただ、長期保全計画の中では不具合が発生した場合に機能を停止するおそれがあると記載されています。

委員

例えば兵庫県の川西市みつなかホールでは、今夏に故障したスプリンクラーを修理したら、次は空調が壊れて3か月ほど臨時休館するというケースもありました。安全面については万全の体制が必要ですが、川西市のケースのように、複数の設備が立て続けに不具合を起こすこともあり得ます。

委員

修繕計画では令和7年度からの3カ年計画でしょうか。

事務局

計画自体は数年前に策定しましたが、財政的な問題等により先送りされてきた経緯があります。このため、策定時から令和6年度の間は計画どおりに修繕・更新を行っていません。

令和7年度からは、本会議のさまざまなご意見も踏まえて、さらに強く予算要望していきたいと考えています。

委員

一番の問題は財政的余裕が無いことだと思います。上牧町も一時財政難でペガサスホールを休館していました。

例えば、大和郡山市の場合はネーミングライツ（命名権）によって、スポンサー企業から市にスポンサー料が支払われています。河合町でもネーミングライツによる収入が運営費に補填できると思います。

委員

この会議での意見を町に提案をする必要があると考えます。

委員

具体的に、関連予算は毎年いくら計上されていますか。

事務局

資料にある改修関連の費用以外に、光熱水費や管理委託費などの運営費として2,700万円前後の経費が必要です。また、他に人件費が3,000万円程度掛かります。それ以外にも、軽微な修繕の予算を50万円計上しています。これらを合わせると5,750万円程度です。この金額には図書館の経費も含まれています。

委員

稼働率の話ですが、20%を目標にしていますが、もっと高い目標が必要ではないでしょうか。

事務局

近隣町では28%や30%といったところが多いですが、まずは20%を目標にしたいと考えています。

委員

住民サービスとして存在するものですので、町主催事業については無料が原則です。それをベースに考えると、文化会館を維持するために有料かつ高額な事業はするべきではないと考えます。そういうことも含めて考えると、必ずしも稼働率を向上させることだけが手段ではありません。ただ、少なくとも30%にはするべきだと思います。

委員

以前、近隣市町の施設の相互利用計画があって、その中では河合町は北体育館だけだったと記憶していますが、その計画がまだ残っているのであれば、まほろばホールを加えてもらえるように町として働きかけるべきではないかと思います。まほろばホールほどの音響施設を備えたホールは近隣市町村にはないと思いますし、他市町村の方から演奏会等で利用したいという声も聞いています。

委員

市町村間の相互利用にあたって気になるのは、駐車台数の少なさや公共交通の利便性が低いことです。このあたりが、他市町からすれば魅力が少ない一因ではないかと感じています。

委員

ホールとしての質の高さに関しては、王寺町、広陵町、上牧町と比べると、まほろばホールが優れていると思います。そこは強く訴えていくべきだと思います

事務局

事務局としても、町外の方を含めた多くの方に利用していただきたい思いはあります。しかし、設備が万全の状態ではないこともあり、広く利用の呼び掛けをしにくい状況につながっています。

他にも、近隣町の中学校が年に1回利用されたり、毎年ピアノ発表会でご利用くださる団体もありますが、財源的には使用料では賄えないぐらいの運営経費が発生しています。修繕費も毎年50万円の予算では、とても修繕しきれません。このため1,000万円や2,000万円といった規模の予算を毎年要望していますが、やはり財政状況的な問題で、予算措置には至っていないのが現状です。

委員

この協議会の目的とスケジュール、また立ち位置やどこにアプローチをするための協議会なのかということを明確にしてもらいたいです。

委員長

今後の運営を検討し、その結果を町長に報告することが本協議会の目的です。町長はまほろばホールを継続したいと考えており、継続するためにはどのような策が効果的であるかを話し合うために、協議を続けていきたいと思っています。

また、施設の老朽化が進むだけでなく、住民の不安も広がりますので、早急に意見をまとめたいと考えます。

委員

ある程度期限を区切って、方向性を1つに決めて相談する方が、それぞれが知恵を出し合って、会議を前進させられると思います。

委員

収支の話は別として、本会としては稼働率を70%まで上げることを目標として、そのためには何をすべきかを検討してはどうでしょうか。無料・有料に関わらず、いわゆる催し物を増やしてはいかがでしょうか。そういう目的がないと、会の存

在そのものにも意味がありません。

委員長

今委員が話された内容を反映し、次回から稼働率の向上に焦点をあてて会議を進めたいと思います。次回会議の時期について、1月下旬から2月の初めにかけて、あらためて連絡いたします。

委員

稼働率を上げるにはどうしたらいいのかという課題については、そのとおりだと思いますが、稼働率を上げるためには音響照明を操作する人員が必要です。今、音響照明を役場職員が担っておられますが、もしその職員が体調不良になれば、外部の業者に委託しないといけません。そうすると、その分の経費が掛かるので、担当職員の後継者を育成するというのは、喫緊の課題だと思います。ただ、後継者は直ぐには育成できないと思うので、ボランティアで運営する体制を作ればいいのではないのでしょうか。上牧町では、ボランティアスタッフに技能を習得してもらうための研修会を開催し、登録された人材が運営に携わっていると伺っておりますので、参考にできるかと思います。

事務局

上牧町の状況を確認し、参考にしたいと思います。